



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 6 年 2 月 実績

February 2024



令和 6 年 4 月

April 2024

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics
Economic and Social Research Institute
Cabinet Office, Government of Japan

目 次

2024（令和6）年2月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

（ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

（ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。
https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

2024（令和6）年2月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、1月2.9%減の後、2月は2.1%増となった。

需要者別にみると、民需は、1月11.0%減の後、2月は7.0%増となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、1月1.7%減の後、2月は7.7%増となった。内訳をみると製造業が9.4%増、非製造業（船舶・電力を除く）が9.1%増であった。

一方、官公需は、1月24.4%増の後、2月は防衛省、運輸業等で減少したものの、地方公務、「その他官公需」で増加したことから、12.1%増となった。

また、外需は、1月4.4%減の後、2月は鉄道車両、原動機で減少したものの、船舶、電子・通信機械等で増加したことから、0.7%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、1月0.7%増の後、2月は産業機械、道路車両で増加したものの、電子・通信機械、工作機械等で減少したことから、2.1%減となった。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、1月13.2%減の後、2月は9.4%増となった。

2月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、パルプ・紙・紙加工品（129.0%増）、情報通信機械（80.3%増）等の14業種で、造船業（45.2%減）、「その他輸送用機械」（24.6%減）等の3業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、1月11.7%減の後、2月は1.8%増となった。

2月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、不動産業（165.9%増）、鉱業・採石業・砂利採取業（121.8%増）等の8業種で、リース業（37.4%減）、情報サービス業（19.4%減）等の4業種は減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

2月の販売額は2兆6,248億円（前月比3.5%増）で、前3か月平均販売額は2兆6,016億円（同0.8%増）となり、受注残高は37兆1,586億円（同0.6%増）となった。この結果、手持月数は14.3か月となり、前月差で0.02か月減少した。

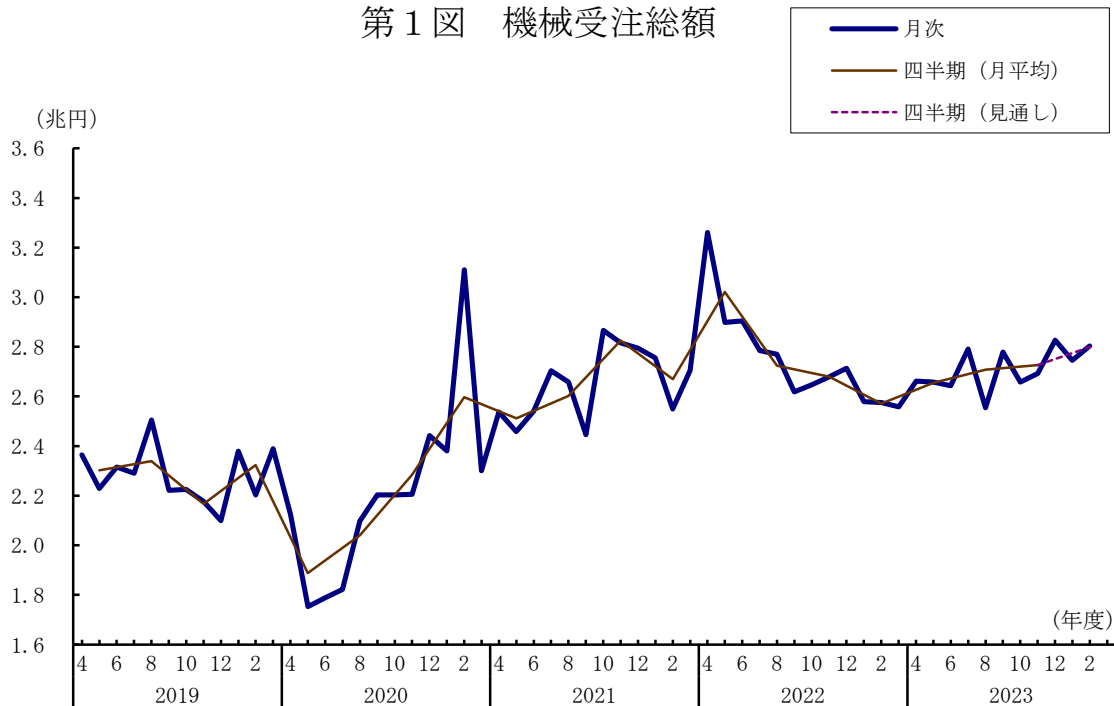
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

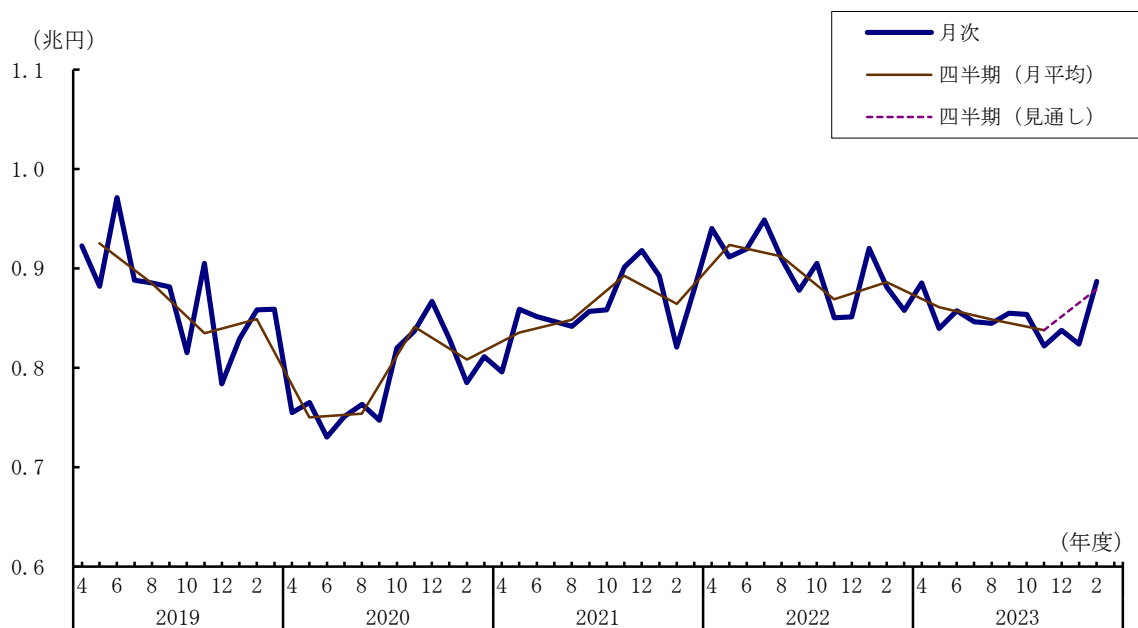
需要者	2023年 (令和5年)				2024年 (令和6年)			
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	11月	12月	1月	2月
受注総額	77,117 (-4.1) [-4.5]	79,626 (3.3) [-11.8]	81,231 (2.0) [0.1]	81,771 (0.7) [2.1]	26,920 (1.3) [0.5]	28,267 (5.0) [5.0]	27,450 (-2.9) [5.7]	28,034 (2.1) [8.8]
民需	31,030 (7.8) [4.0]	30,168 (-2.8) [-5.8]	32,470 (7.6) [3.5]	30,454 (-6.2) [6.7]	9,647 (-5.7) [-4.1]	10,575 (9.6) [17.2]	9,417 (-11.0) [-9.8]	10,077 (7.0) [-5.8]
〃 (船舶・電力を除く)	26,586 (2.0) [1.8]	25,822 (-2.9) [-6.7]	25,458 (-1.4) [-7.2]	25,133 (-1.3) [-2.5]	8,219 (-3.7) [-5.0]	8,378 (1.9) [-0.7]	8,238 (-1.7) [-10.9]	8,868 (7.7) [-1.8]
製造業	12,503 (0.8) [-6.2]	12,537 (0.3) [-10.5]	12,213 (-2.6) [-10.8]	12,208 (-0.0) [-0.7]	3,937 (-3.9) [-4.3]	4,175 (6.0) [3.6]	3,623 (-13.2) [-11.0]	3,963 (9.4) [-8.6]
非製造業 (船舶・電力を除く)	14,301 (2.9) [9.6]	13,152 (-8.0) [-2.7]	13,132 (-0.2) [-3.5]	13,276 (1.1) [-4.1]	4,458 (-0.1) [-5.5]	4,357 (-2.3) [-4.2]	4,639 (6.5) [-10.7]	5,059 (9.1) [5.0]
官公需	9,101 (20.6) [0.4]	9,991 (9.8) [16.4]	10,248 (2.6) [37.7]	10,235 (-0.1) [35.2]	3,643 (29.5) [44.2]	3,779 (3.7) [63.0]	4,701 (24.4) [74.6]	5,270 (12.1) [58.6]
外需	33,216 (-17.3) [-13.7]	35,289 (6.2) [-22.0]	36,006 (2.0) [-9.2]	37,661 (4.6) [-6.4]	12,482 (1.4) [-2.4]	12,873 (3.1) [-11.1]	12,303 (-4.4) [9.4]	12,384 (0.7) [8.6]
代理店	3,610 (1.9) [8.5]	3,579 (-0.8) [-1.7]	3,472 (-3.0) [-3.3]	3,641 (4.9) [3.0]	1,184 (-2.7) [0.8]	1,241 (4.8) [1.9]	1,249 (0.7) [0.7]	1,223 (-2.1) [5.1]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2024年1～3月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2023年12月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。
3. 2024年1月調査（同年3月18日公表）において、季節調整系列の遡及改訂を行ったため、それに伴い「2024年1～3月見通し」（同年2月19日公表）も改訂されている。

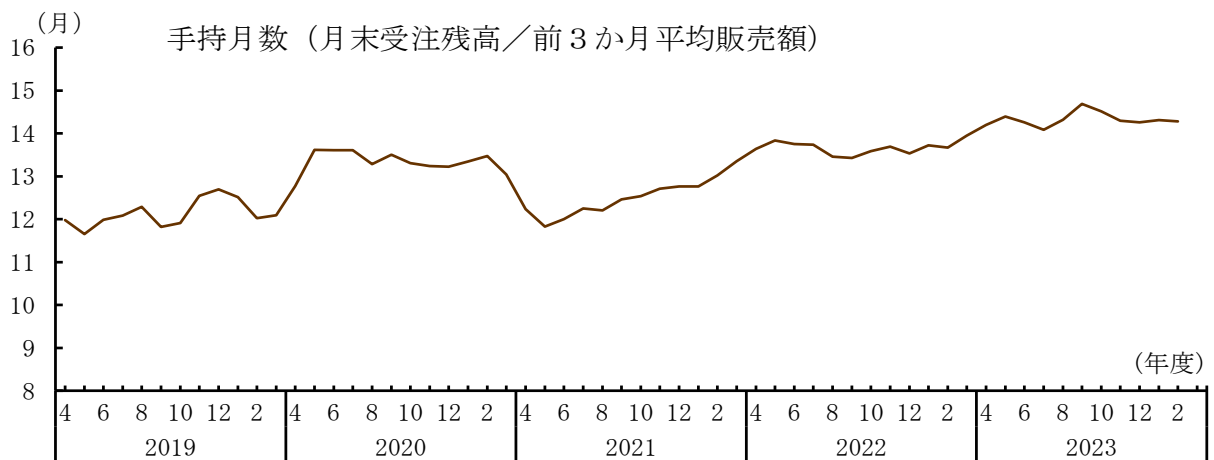
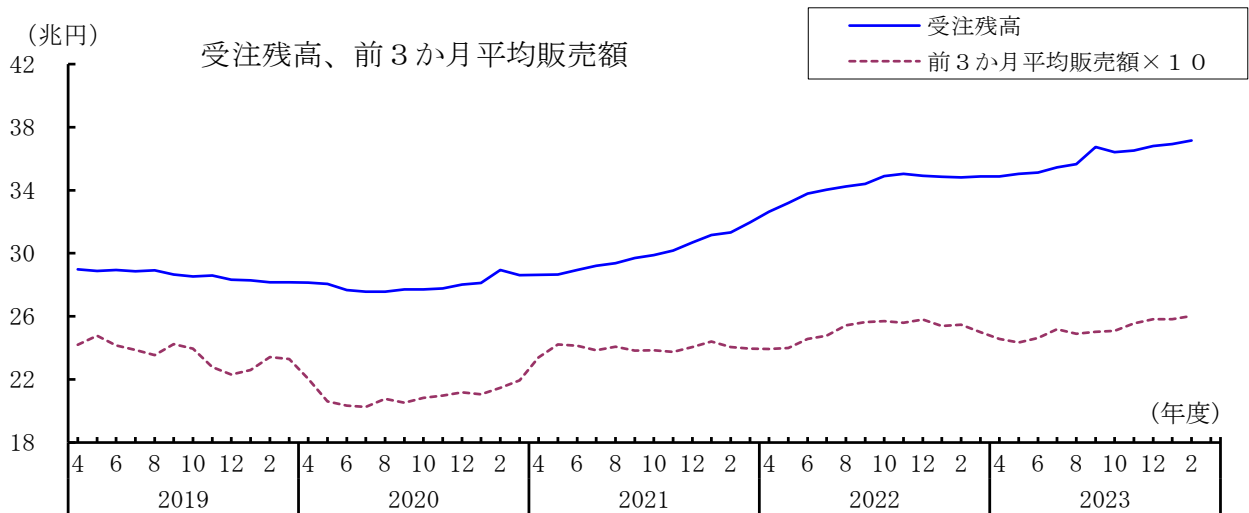
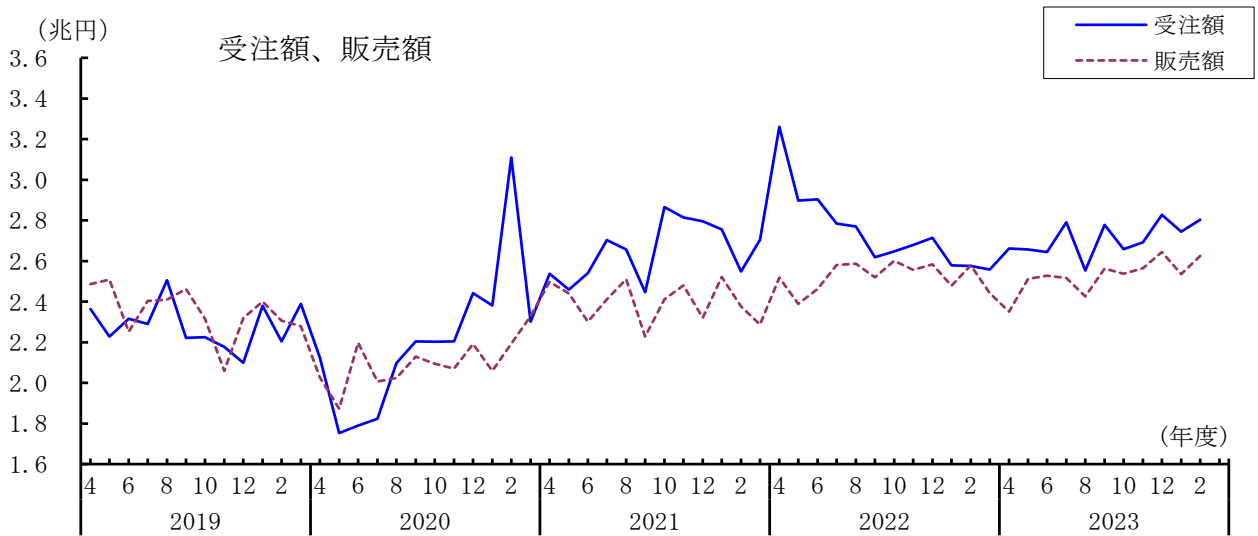
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月								
		2023年 (令和5年) 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2023年 (令和5年) 11月	12月	2024年 (令和6年) 1月	2月
I 製造業計		0.8	0.3	-2.6	-0.0	-3.9	6.0	-13.2	9.4
1 食品製造業		-9.0	8.3	0.4	6.5	1.0	12.3	3.8	9.4
2 繊維工業		-2.6	101.8	-54.7	5.7	38.9	-37.3	12.2	29.0
3 パルプ・紙・紙加工品		3.2	-7.4	136.5	-59.5	-1.6	12.8	-45.3	129.0
4 化学工業		5.5	15.0	51.2	-24.9	4.9	66.8	-61.5	38.5
5 石油製品・石炭製品		26.3	53.6	-38.9	-10.9	5.7	9.0	0.7	42.0
6 窯業・土石製品		20.5	-3.4	-2.0	-10.5	-8.1	11.6	6.1	15.7
7 鉄鋼業		-9.1	0.2	12.6	13.8	13.9	-11.1	-11.3	2.7
8 非鉄金属		29.2	-36.1	-12.6	-9.0	42.7	4.8	-29.8	13.1
9 金属製品		0.1	-8.4	-3.7	22.2	-12.3	23.3	-35.3	57.0
10 はん用・生産用機械		5.4	0.3	2.8	-4.5	-7.0	-0.2	-0.8	0.4
11 業務用機械		-1.4	-22.3	-2.1	-2.2	-13.0	10.1	-14.6	22.6
12 電気機械		-10.4	2.8	-11.4	-5.6	8.8	-5.6	1.6	33.6
13 情報通信機械		-19.9	-5.0	-1.0	-20.6	-21.5	59.1	-10.1	80.3
14 自動車・同付属品		-0.8	7.8	-1.8	0.3	2.0	-7.1	-14.7	9.7
15 造船業		40.6	-28.8	8.2	16.8	-5.3	-4.9	-14.7	-45.2
16 「その他輸送用機械」		-7.8	35.8	-5.3	16.9	19.4	-15.5	27.7	-24.6
17 「その他製造業」		17.0	-8.8	-8.8	8.7	-29.6	-2.2	-12.3	-0.5
II 非製造業計		8.7	-4.1	15.1	-8.7	-6.6	17.8	-11.7	1.8
18 農林漁業		1.8	-9.9	3.5	-8.1	-0.1	-2.5	3.3	26.8
19 鉱業・採石業・砂利採取業		-54.0	-9.7	8.1	-5.8	-8.8	-30.5	92.7	121.8
20 建設業		27.4	-35.2	7.7	-4.2	0.2	5.6	-6.2	20.9
21 電力業		33.7	16.0	80.0	-41.9	-24.9	70.7	-27.8	-19.1
22 運輸業・郵便業		21.4	-14.5	3.1	0.3	10.7	-17.7	17.0	3.2
23 通信業		27.7	-27.1	3.0	13.7	26.1	-13.4	-3.0	28.2
24 卸売業・小売業		-5.6	-12.1	9.1	2.7	-9.0	-6.4	-9.2	7.9
25 金融業・保険業		-1.9	18.8	-9.3	0.5	-16.1	10.8	-11.4	4.6
26 不動産業		17.4	9.0	-23.5	35.7	-26.3	99.5	-61.4	165.9
27 情報サービス業		-6.2	0.2	-9.7	-15.6	-12.6	11.8	15.6	-19.4
28 リース業		-1.1	26.8	70.5	-45.5	-15.6	46.4	-21.9	-37.4
29 「その他非製造業」		-0.5	-2.5	6.8	4.4	7.0	-0.9	29.3	-7.6

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

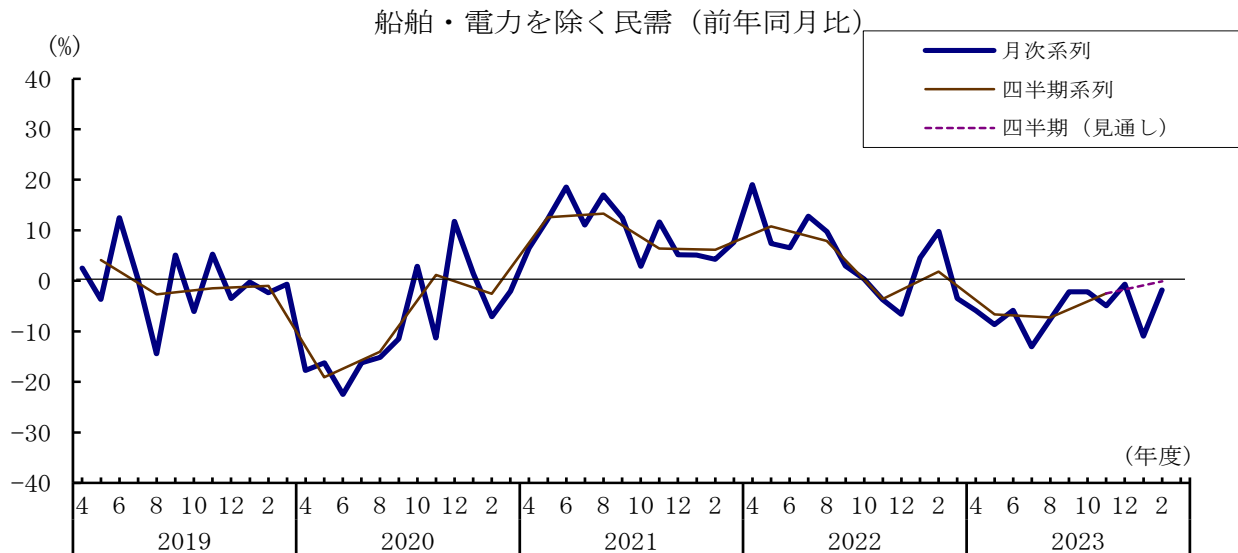
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数 (総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

2月の受注総額は、2兆5,403億円で前年同月比8.8%増となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2024年1～3月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2023年12月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は8,694億円で前年同月比5.8%減（船舶・電力を除くと同1.8%減）、官公需は4,503億円で同58.6%増、外需は1兆1,023億円で同8.6%増、また、代理店は1,181億円で同5.1%増となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比8.6%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、情報通信機械（44.6%増）、食品製造業（43.2%増）等の10業種で、非鉄金属（75.5%減）、造船業（29.1%減）等の7業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比3.9%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業（181.5%増）、金融業・保険業（14.2%増）等の6業種で、リース業（34.1%減）、情報サービス業（25.3%減）等の6業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

2月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（158.9%増）、船舶（28.1%増）等で増加となった。反面、原動機（31.4%減）、道路車両（19.2%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比8.8%増となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、鉄道車両（33.3%

増)、航空機 (18.5%増) 等で増加となった。反面、船舶 (67.7%減)、原動機 (49.2%減) 等で減少となった。この結果、合計では前年同月比5.8%減となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2023年 (令和5年)				2023年 (令和5年)		2024年 (令和6年)	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	11月	12月	1月	2月
民需総額	4.0	-5.8	3.5	6.7	-4.1	17.2	-9.8	-5.8
原動機	4.3	9.0	44.2	66.6	4.0	95.3	5.4	-49.2
重電機	4.6	-17.8	8.9	11.9	0.9	39.5	-0.8	9.7
電子・通信機械	-1.4	-2.6	-3.4	-4.6	-7.9	0.8	-11.5	-3.1
産業機械	9.4	-8.8	4.1	0.5	-3.7	0.1	-14.3	11.2
工作機械	-11.3	-25.7	-28.3	-23.5	-31.5	-9.3	-23.7	-16.6
鉄道車両	25.6	10.6	-55.3	-27.3	-24.0	-39.9	16.4	33.3
道路車両	-17.9	33.2	50.6	43.2	37.1	29.2	42.7	13.4
航空機	7.6	17.5	101.7	80.4	188.4	12.7	183.4	18.5
船舶	64.5	-65.8	-50.0	287.7	121.7	483.9	-84.4	-67.7

(備考) 原系列による対前年同期 (月) 増減率。

(2) 販売額

2月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、航空機 (77.4%増)、原動機 (31.9%増) 等で増加となった。反面、重電機 (20.5%減)、鉄道車両 (11.3%減) 等で減少となった。この結果、合計では前年同月比1.8%増となった。

(3) 受注残高

2月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、船舶 (44.7%増)、航空機 (36.8%増) 等で増加となった。反面、道路車両 (23.7%減)、工作機械 (7.3%減) 等で減少となった。この結果、合計では前年同月比6.7%増となった。

2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

(1) 鉄構物

2月の受注額は、241億円で前年同月比46.1%増、販売額は、299億円で同3.4%増、受注残高は、4,567億円で同1.9%減となった。

(2) 軸受

2月の受注額は、606億円で前年同月比13.3%増、販売額は、576億円で同1.2%増、受注残高は、1,329億円で同25.2%増となった。

(3) 電線・ケーブル

2月の受注額は、1,414億円で前年同月比15.5%増、販売額は、1,168億円で同6.8%増、受注残高は、3,434億円で同37.0%増となった。

機械受注実績調査統計表
目次

[グラフ]

第1図 主要需要者別受注額	-----	9
第2図 主要業種別受注額	-----	12
第3図 主要機種別受注額	-----	17

[計数表]

需要者別受注額（季節調整系列）	-----	18
機種別受注残高手持月数（ 〃 ）	-----	23
需要者別受注額（原系列）	-----	24
機種別受注額（ 〃 ）	-----	29
機種別販売額（ 〃 ）	-----	33
機種別受注残高（ 〃 ）	-----	37
機械受注統計調査結果表（2024年2月実績）	-----	41

(別紙)

需要者（業種）分類の表章変更	-----	45
----------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----